

■全体計画（案）

1. 検討の手順

①利用施設・自然資源の確認

- ・「自然や文化とのふれあい」に資するために、自然資源、文化資源を体験し、利用施設を活用できるように自然資源や利用施設の状況を確認する。

自然資源：保全対象（伊勢志摩国立公園管理計画）、主な展望地（伊勢志摩国立公園管理計画）、史跡・名勝・天然記念物、特定植物群落・希少野生動植物主要生息生育地

利用施設：海水浴場、野営場、展望台、博物展示施設（VC）、その他の自然ふれあい施設・自然ふれあいの場



②全体計画の検討

- ・「基本的な考え方」、「目標」、「基本方針」を踏まえ、ルートを検討する。
(ルートの連続性を確保できない区間、新たな区間については、公園計画の変更などの処置により、近畿自然歩道に取り込む。)
- ・「自然や文化とのふれあい」に資するように、近畿自然歩道の**利用、保全・整備、情報発信、維持管理**を検討する。

2. 全体計画の検討

利用施設・自然資源の現状

- ・キャンプ場、展望台、海水浴場などの利用施設は、海岸部に多い傾向がある。（現近畿自然歩道と重なる部分も多い）
- ・自然資源は、地域全体に分布する。その中で、五十鈴川や横輪川の源流部、南伊勢町の山域部などは利用施設が少なく、自然性が保たれている。（近畿自然歩道は通っていない）

現状のルートを生かしつつ、自然性の高い五十鈴川や横輪川の源流部、南伊勢町の山域部などにルートを検討する。

全体計画（案）

「近畿自然歩道の基本的な考え方」、「伊勢志摩国立公園近畿自然歩道コンセプト」に基づき、利用施設および自然資源の現状を踏まえ、全体計画を立案する。

ルート1 伊勢神宮内宮～古和浦

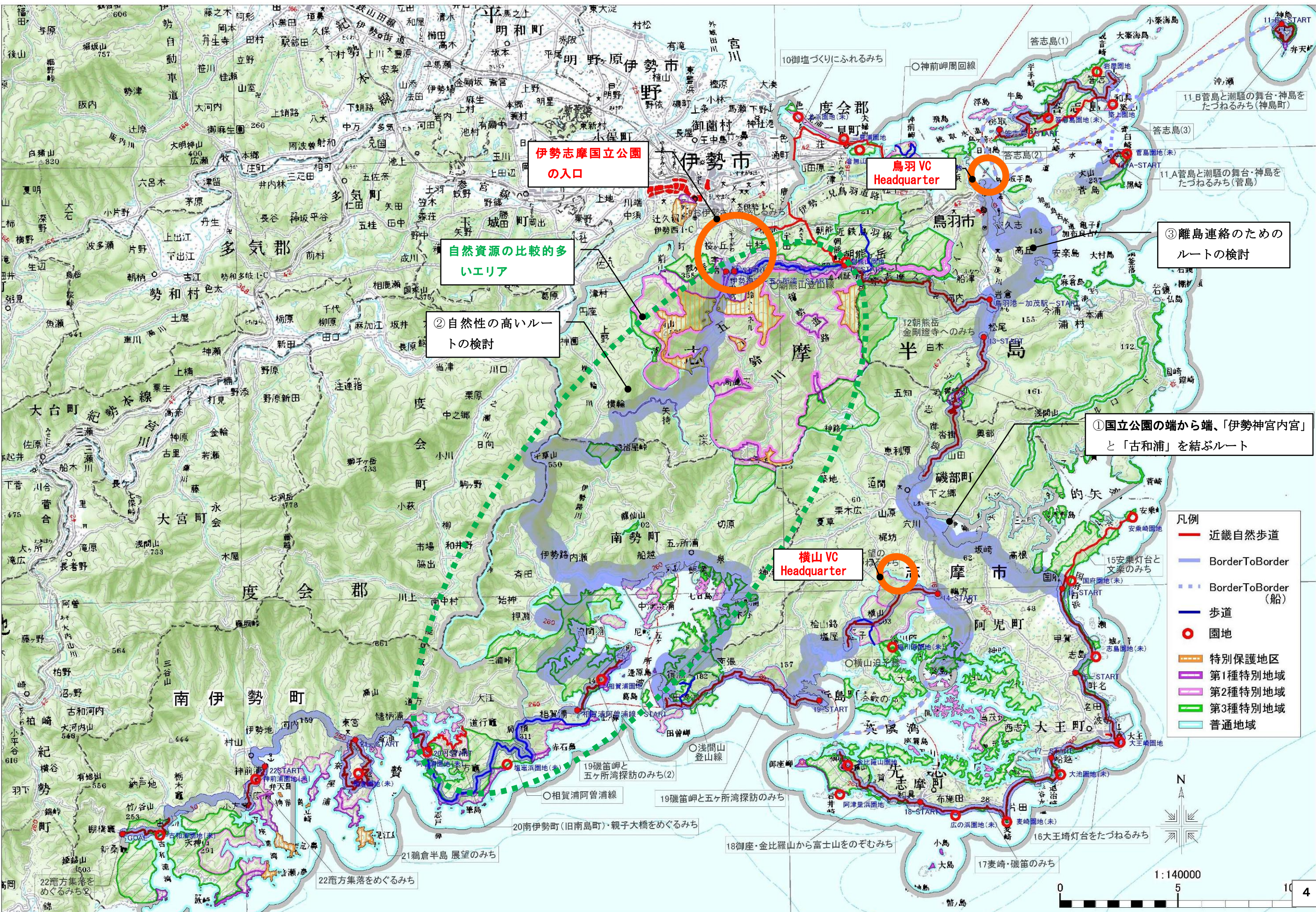
「伊勢神宮内宮」から「古和浦」まで、既存の近畿自然歩道を繋げ、シンプルかつ距離があり、歩いて利用できるルート（既往施設の利活用など）

ルート2 伊勢神宮内宮～内瀬

伊勢志摩国立公園のなかで、特に自然資源の豊富な伊勢神宮内宮から宮域林を通り南伊勢町に抜けるルート

全体計画（案）

	ルート	現状			各ルート毎の方針				
		タイプ	難易度	距離	資源	利用	保全・整備	情報発信	維持管理
	9. お伊勢さんを感じるみち	里	●	2.1	神宮神田、雑木林と水田、浅間山眺望	・現状維持 ・歴史・文化とのふれあい	(公園外のルートについて三重県と調整が必要)		
	10. 御塩づくりにふれるみち	海	●●	10.2	五十鈴川、御塩浜、御塩殿神社、松下社	・現状維持 ・歴史・文化とのふれあい	〃		
R1	○. (朝熊山登山線)	—	—	—	滝、丁石・お地藏様、内宮	・伊勢志摩NP近畿自然歩道のSTART (伊勢神宮内宮側の登山口)	・登山口～朝熊峠の歩道の整備	・START地点でのルート全体の情報提供	
	12. 朝熊岳金剛證寺へのみち	山	●●	12.8	尾根からの眺望、金剛證寺、丸山庫蔵寺、彦瀧神社、田園風景	・歴史の道の体験 ・社叢林等貴重な自然とのふれあい	・再整備 ・12-13間の連絡ルートの整備		市町村道管理者との連携 (崩壊箇所への対応)
	ー. 鳥羽港～加茂駅	—	—	—	安楽島海水浴場	・12と島嶼部を連絡するルート ・半島・海岸の自然とふれあい	・連絡ルートの整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道の情報発信	
	○. 答志島	島	●●	—	島ヶ崎灯台、桃取・和具・答志の漁村景観	・島の自然とのふれあい(海の生物、植生、眺望等) ・エコツアー利用	・未執行部分(桃取～和具)の整備(要漁港事業との調整)	・鳥羽VCでの近畿自然歩道島嶼部の情報発信 ・ルートに名称を付ける	
	11-B. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち②「潮騒」の舞台・「鷹と蝶」の渡る神島を訪ねる道	島	●●	2.5	神島灯台、監的哨(眺望)、カルスト地形	・島の自然・文化とのふれあい	・再整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道島嶼部の情報発信 ・シンプルなルート名称への変更	
	11-A. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち①菅島灯台としろんごの浜を訪ねるみち	島	●●	2.9	しろんご浜、菅島灯台、監的哨(眺望)、大山(眺望)、ベニツゲ	・島の自然とのふれあい(植物の観察、山頂から海への眺望など) ・エコツアー利用	・大山山頂を巡るルートの整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道島嶼部の情報発信 ・シンプルなルート名称への変更	
	13. 舟神様“青峯山”をたずねるみち	山	●●	10.2	松尾の街並み、しょうぶ園、尾根からの眺望、正福寺	・歴史の道の体験	・正福寺～上之郷駅間(As舗装)を自然性の高い沓掛道(山道)に変更。		
	ー. 上之郷駅～国府白浜	—	—	—	伊雑宮、隣江寺のイチョウ、玉泉庵のナギ	・13と15を連絡するルート ・里海景観(伊雑ノ浦)の体験	・連絡ルートの整備		
	15. 安乗灯台と文楽のみち	海	●	11.2	安乗灯台、白浜、阿児の松原	・海の自然(国府白浜、阿児松原)とのふれあい	・道路沿いルート(As舗装)を自然性に高い国府白浜(砂浜)に変更	・	
	16. 大王埼灯台をたずねるみち	海	●●	11.1	大野浜、大王埼灯台、米子浜	・海の自然(磯、砂浜等)と文化(漁港等)とのふれあい	・再整備 ・通行止め箇所、道がない箇所の振替え		市町村道管理者との連携 (通行止め箇所への対応)
	17. 麦崎・磯笛のみち	海	●	8.4	船越大池、深谷水道、大野浜、麦崎灯台、広の浜(アカウミガメ産卵)	・海の自然(磯、砂浜等)と文化(海女小屋等)とのふれあい	・再整備 ・通行止め箇所の振替え		〃
	18. 御座・金比羅山から富士山をのぞむみち	海/山	●●	13.7	和具大島、阿津里浜、金比羅山展望台、爪切不動尊、御座岬灯台、潮仏	・海の自然(磯、砂浜等)と文化(漁港等)とのふれあい	・再整備 ・民地箇所の振替え	・海女の博物館等での情報提供	
	14. 英虞湾一望の横山をたずねるみち	山	●●	5.9	横山VC、英虞湾の眺望 迫子集落の景観	・現状維持	—	・伊勢志摩国立公園近畿自然歩道のヘッドクォーターとして、横山VCでの近畿自然歩道の情報発信	
	19. 磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち	海	●●	13.0	矢取島、夢街道チップアート、磯笛岬展望台(ツバスの鐘)、五ヶ所湾、相賀浦、南海展望公園	・海の自然(リアス式の内湾)と文化(漁港等)とのふれあい	・再整備 ・通行止め箇所の振替え		市町村道管理者との連携 (通行止め箇所への対応)
	ー.						・現バSRルートを歩道として整備	・五ヶ所湾体験ワールド等での情報提供 ・ルートに名称を付ける	
	○. 相賀浦阿曾浦線	—	—	—	リアス式の海岸、塩竈浜、塩竈浜の海跡湖、塩竈浜に上陸するウミガメ	・19と20を連絡するルート。 ・リアス式海岸の自然とふれあい。	・歩道を近畿自然歩道に変更	・海ぼうず等での情報提供	・漂着ゴミの撤去(塩竈浜)
	20. 南伊勢町(旧・南島町)・親子大橋をめぐるみち	海	●●	8.6	リアス式の静かな内湾	・現状維持	・再整備 (公園外のルート三重県と要調整)		
	21. 鶴倉半島展望のみち	山	●●	9.1	あけぼの展望台、見江島、かさらぎ池、かさらぎ展望台、河村瑞賢生誕地、八柱神社	・現状維持	・再整備 (公園外のルート三重県と要調整)		
	22. 竈方集落をめぐるみち	海	●●	12.3	薬師山城跡、与崎の鼻、古和一族の軍忠碑、ニラハマ展望台、竈方伝説塩焼竈跡	・棚橋浦 →伊勢志摩NP近畿自然歩道のGOAL	・再整備 (公園外のルート三重県と要調整)	・GOAL地点でのルート全体の情報提供	
R2	○. 伊勢神宮(内宮)～五ヶ所湾	山	—	—	伊勢神宮宮域林、五十鈴川、横輪川、牛草山等	・自然とふれあうルート。(伊勢志摩NPの中で特に自然性が高く資源の多い地域)	・伊勢神宮(内宮)から五ヶ所湾ルートを近畿自然歩道に位置づけ	・START地点でのルート全体の情報提供	・宮域林への配慮 ・不法投棄の撤去



伊勢志摩国立公園
の入口

自然資源の比較的多
いエリア

②自然性の高いルー
トの検討

鳥羽 VC
Headquarter

横山 VC
Headquarter

③ 離島連絡のための
ルートの検討

① 国立公園の端から端、「伊勢神宮内宮」
と「古和浦」を結ぶルート

- 凡例
- 近畿自然歩道
 - BorderToBorder
 - BorderToBorder (船)
 - 歩道
 - 園地
 - 特別保護地区
 - 第1種特別地域
 - 第2種特別地域
 - 第3種特別地域
 - 普通地域



1:140000